

南第三小元気っこクラブの取組み



更新日：2013年11月13日

大阪狭山市立南第三小学校区元気っこクラブの取組みを紹介します！

■ひとことと言えばこんな取組みです

・子どもたちの放課後の居場所づくりを市全体の取組みと考え、市教委と学校、コーディネーターが連携しながら活動をすすめています。

■ここがポイントです

1. コーディネーターが中心になり、週4回放課後の居場所づくりを行っている

・昨年度から大阪狭山市の新しい放課後施策として、南第三小学校区をモデル校として実施している。自由遊びだけでなく講座形式も取り入れ、日曜日を除く毎週4日、放課後や土曜日の子どもの居場所づくりを行っている。

・コーディネーターが元校長なので、在職時のネットワークを生かして、学校との連携や新しいボランティア人材の育成を行っている。



2. 大学生の参加により活気づいた「元気っこクラブ」

・子どもたちと一緒に遊んでくれる大学生のボランティアがいることで、子どもたちに活気が生まれている。

・教員をめざす学生にとっても、子どもたちとの接し方をより実践的に学ぶ良い機会となるとともに、子どもたちから元気をもらう場ともなっている。

・大学生は地域の活動のつながりの中でネットワークを広げ、その他の活動で子どもたちと関わっている学生も参加してくれている。



3. 放課後児童クラブや学校との連携も進んでいる

・放課後児童クラブの児童も自分で活動を選び、活動に参加できる形をとっている。

・スタッフどうしが情報を共有し、子どもたちの接し方について、共通理解を図っている。

・コーディネーターが学校の実情をよく理解しているため、学校との連携も進み、空き教室の活用やちらしの配布や申し込み用紙の回収など学校との連携が進んでいる。

■参加者の声

(スタッフの声)

・ほぼ毎回参加していると、子どもたちもなじんできて話しかけてくれるようになって楽しい。

- ・2年前から活動に参加している。子どもと活動するのが好きなので、人形劇や南京玉すだれなども一緒に行っている。
(大学生の声)
- ・昨年から参加していて、子どもたちと遊んでいるととても楽しい。今では子どもたちを一方的に指導するということなく、一緒に考えるような声かけをするようになった。
(教員志望の4回生)
- ・エイサーの講座で子どもたちに指導している。遊ぶときには子どもたちと自由に話すことができるのでとても楽しい。
(教員志望の4回生)
- ・子どもたちの元気はすごい。毎回子どもたちに元気をもらっているような気がする。
(子どもたちの声)
- ・ここに来ると学童保育に通っている友だちがいるのでうれしい。
- ・大学生のお兄さんお姉さんと思いきり遊ぶことができる。
- ・ここではボール遊びもできる。
- ・家では材料がないけど、ここでは好きなものをたくさんつくることができる。

訪問日時

平成25年9月25日(水曜日)

このページの作成所属
教育庁 市町村教育室地域教育振興課 地域連携グループ



[1つ前のページに戻る](#)

[このページの先頭へ](#)

[ホーム](#) > [教育・学校・青少年](#) > [社会教育・教育コミュニティ・生涯学習](#) > [おおさか元気広場](#) > [南第三小元気っこクラブの取組み](#)

[お問い合わせ](#) [ユニバーサルデザインについて](#) [個人情報の取り扱いについて](#) [このサイトのご利用について](#)

大阪府
(法人番号
4000020270008)

本庁 〒540-8570 大阪市中央区大手前2丁目 (代表電話) 06-6941-0351
咲洲庁舎 〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 (代表電話) **06-6941-0351**

[大阪府庁への行き方▶](#)